

会長便り

一日も早い復興を～新会員の力に期待～

菊地 芳朗 (GS34)



この度の東日本大震災でお亡くなりになりました方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様には心からお見舞い申し上げます。一日も早い復興をお祈り申し上げます。

平成 23 年 3 月 11 日
午後 2 時 46 分、マグニ

チュード 9.0 (M9.0) の地震が発生しました。本当に驚きました。東北地方太平洋沖地震です。これに津波が発生し未曾有の、形容する言葉もない凄まじい災害となりました。

4月3日現在、死者1万2,087人、行方不明者1万5,552人となり、その被害は日本最大の津波被害と言われ、死者と行方不明者2万1,959人を数えた明治29年6月15日の明治三陸地震(M8.2-8.5)を超えました。

これに東京電力福島第一原子力発電所の事故が加わり、放射能被害で野菜や水道水にも影響が出て、深刻な状態が続く住民に不安を与えています。

この復旧のため作業に携わる皆さんは放射線の危険も顧みず懸命の作業を続けております。この中に私達の会員もおられるのでしょうか。携わっている方々には敬意を表します。

今回の事故は予想以上の巨大地震と大津波によりますが、原発は二重・三重の安全対策が取られていると思いますが、その辺がどうなっているのでしょうか。これから検証されることでしょうか。しかし、原子力を人間の手で制御できると考えたところに問題があったのでしょうか。何れにしても「原子力は化石燃料でなく、二酸化炭素を排出せず、地球温暖化防止につながるクリーンエネルギー」としてきた国のエネルギー政策は大きく見直さざるを得ないことは確かでしょう。

さて、創立100周年の募金ですが、先ず最初に多くの会員の皆様からご芳志を賜りましたことに厚くお礼申し上げます。

3月31日現在：4,177名(件)(分割件数603件)を入れると4,780件) 総額：1億7,805万円で、

その内訳は

企業	235社	5,397万円
篤志家	18名	149万円
教職員	156名	1,016万円
学部後援会	11回	2,365万円
北光会	3,757名	8,878万円

となっております。募金期間も残すところ5ヶ月となりましたが、企業募金は、この度の災害により企業訪問など積極的な募金活動を当分の間行わないことに致しました。

会員の皆様につきましては、引き続き従来通りご芳志をお受けしております。

最後になりましたが、新正会員の皆様一言ご挨拶を申し上げます。

卒業は本来慶事なことですが、この度は卒業式の中止に伴い、皆様の歓迎会も取りやめとなりました。誠に残念なことでもあります。

今年には就職難と報道されておりましたが、幸いにも学部の卒業生の就職は例年並みと聞いております。誠に同慶の至りです。

歓迎会で、私は皆様に「チャレンジ」と「思いやり」の二つの言葉を述べつもりでした。「チャレンジ」は理工系の人間として、どう立ち向かっていくか、と言うことでした。しかし、今チャレンジするのはこの大震災の復興です。

日本は先の大戦で多くの都市が廃墟となりました。これを復興し今日の日本を築き上げたのは皆様方の祖父や祖母と同年代の方々でした。それは大変な事でしたが、これをやり遂げる力がありました。その力は今でもあると信じております。この大震災から必ず立ち直ると確信しております。そのためには若い皆様の力なくしては達成できません。皆様にもそれをやり遂げる力があります。よろしくお願い致します。

もう一つの「思いやり」ですが、隣近所にたいする思いやりは勿論ですが、地球上には戦争、食料、資源や環境など多くの問題があります。

地球上のあらゆるものに対する「思いやり」を語りかけたのですが、今はただ一つ、災害に遭われました皆様への「思いやり」を大切にしてください。お願い致します。

皆様の活躍を期待しております。